



神埼市議会だより

あやとり

12月定例会

2月定例会は2月22日開会予定です。



予算はどのように使われているの？



おもな補正予算を紹介します

12月定例会の補正予算総額 **10億4,552万8千円**

12月定例会は、令和5年12月1日から12月20日までの20日間開かれ、一般質問に12人が登壇し、神崎市政全般について質疑を行いました。補正第11号で10億4,552万8千円を追加し、総額236億5,242万6千円となりました。

中学生の部活動を応援！

○中学校管理総務費（生徒派遣補助金） 221万1千円

神崎市立中学校の部活動等において、各種大会で数多くの生徒が活躍し、優秀な成績を収めている。スポーツ、学習及び文化活動を振興し、それに係る大会に出場する者に対し、その出場に要する経費の一部を助成する。

【補助対象競技数(R5.10月現在)】

県大会：2競技
九州大会：9競技
全国大会：3競技



農業用施設の被災支援

○農地・農業用施設災害復旧事業 5億6,232万2千円

大雨、洪水、高潮、暴風その他異常な自然現象により、被災した農地・農業用施設の復旧を行い、農業の維持及び経営の安定を図る。令和5年7月豪雨により被災した、農地・農業用施設の復旧に係る工事費の増額補正並びに財源組替。

項目	被災箇所	工事費
農地	159か所	5億2,875万5千円
農業用施設	52か所	2億1,456万7千円
合計	211か所	7億4,332万2千円

氏名の振り仮名法制化に向けて

○氏名の振り仮名法制化に伴うシステム改修業務 1,262万4千円

デジタル社会の基盤であるマイナンバー、マイナンバーカードについて国民の利便性向上の観点から、令和5年6月に「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」が公布された。この改正により以下の内容等のシステム改修を行う。

- ①戸籍の記載事項に「氏名の振り仮名」を追加
- ②住民票(外国人住民に係るものを除く。)等の記載事項に戸籍に記載された「氏名の振り仮名」を追加
- ③コンビニ交付の各種証明書等においても「氏名の振り仮名」を追加

おもな質疑

Q 今後、振り仮名について市民の方はどのような届出が必要となるのか。

A 出生される方については出生届により登録となる。既に戸籍に登録されている方は、本籍地から各住民に通知が届くので、振り仮名について届け出を出していただく形になる。

城原川ダム建設関連事業



債務負担行為とは…

将来の財政負担を約束する内容を予算として定めておくものです。

○【債務負担行為】城原川ダム建設に伴う集団移転地造成事業

- ・債務負担行為設定期間：令和5年度から令和8年度まで
- ・債務負担行為限度額：用地取得費並びに造成等に必要な借入金に係る元金、利子及び遅延利息に相当する額

市では国の用地買収のスケジュールとも調整を図りながら、ダム水没予定地域住民の生活再建に向けた集団移転地の確保・整備を目的として事業推進を図る。

【スケジュール（予定）】

- | | |
|---------------|--|
| 令和5年12月 | 土地開発公社との委託契約 |
| 令和6年1月 | 土地開発公社理事会（予算の承認）
関連業務委託発注（開発許可申請手続き等） |
| 令和6年4月 | 土地買収希望申出（公拡法第5条第1項） |
| 令和6年8月 | 土地所有者との売買契約 |
| 令和6年9月 | 造成工事発注 |
| 令和7年6月 | 集団移転造成地完成 |
| 令和7年7月～令和8年度末 | 分筆登記、所有権移転登記、移転希望者との売買契約、土地代納入 |



▲城原川ダム建設予定地

文化振興支援を行います

○神崎市文化連盟記念事業 75万円

市民に文化・芸術性の高い伝統芸能を直接触れ親しむ機会を設けるため、活動費の一部を支援することにより、文化の発展や世代間の交流を推進する。

おもな質疑

Q 文化連盟の日舞の会結成15年の記念事業に対して75万円の予算であるが、予算額の基礎算定について尋ねる。

A 試算については、文化連盟の方でされている。場所は、はんぎーホールにて実施、チケット入場料は、神崎市民2,000円が300枚、市外の方3,000円が200枚、計500枚。その他文化連盟補助金、出演者負担、協賛金など総収入を277万円と見込まれている。支出については、日本舞踊の家元と呼ばれ公演されるとのことでその経費等もあり最終支出額は、352万円を見込まれその差額の75万円を支援することになっている。



予算特別委員会のQ & A

補正予算の審議について、質疑を抜粋して紹介します。



地方創生臨時交付金事業（防犯カメラ設置補助金）

△2,826万1千円

（事業の目的）

地域の防犯活動を支援するため、自主的に防犯カメラを設置する地区に対し、その設置費用の一部を助成することにより、地域における犯罪などを未然に防止し、市民に安心して暮らすことができるまちづくりを支援する。

Q

臨時交付金事業の防犯カメラの設置は必要性が高かったと思われるが、実際には申請が少なかった。説明が足りなかったのではと思うが、申請が少なかったことについて、検証はされてたのか。

A

今年度限りの事業で期限も決まっており、丁寧な説明に努めたところであるが、説明不足の意見があったということで、今後事前調査等しっかりとした説明に努めたい。また防犯協会でも補助事業を検討されるのでしっかりと連携していきたい。

農業用排水路維持管理費

445万6千円

（事業の目的）

幹線的な農業用排水路の法落ち対策として、整備実施中の国営農地防災事業で整備計画路線の応急的な法落ち復旧工事及び受益範囲が広く、公共性の高い農業用排水路等の維持的な工事で、緊急性のある工事を行い、安定的な用排水路の確保を図る。

Q

法落ち工事をする場合、水稻作付できない補償、麦作減収補償はどうなっているのか。

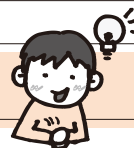
A

工事については、水稻作付前に完了するようにしているので、補償はしていない。
麦作の時期に工事を行うので、工事ヤードとして6m必要となるが、クリーク防災機能保全対策事業同様に農家の皆様にご理解を頂き施工している。



▲法落ちの状況

各常任委員会のQ & A



各常任委員会での審議について、質疑を抜粋して紹介します。

総務常任委員会

総務常任委員会では、条例案件5件について審議を行いました。

議案名：神崎市職員の給与に関する条例等の一部改正について（全員賛成）

Q

初任給の金額はいくらとなるのか。また、他市町と比べた神崎市の給料はどういう状況にあるのか。

A

今回の改正で、高卒・大卒の初任給は1万2,000円の引き上げとなり、高卒の初任給16万6,700円、大卒の初任給18万7,800円となる。給料表は、佐賀県の職員給料表と同じであり、初任給の額は自治体により異なる。

Q

神崎市職員の平均給与は県内の市において、どのような位置なのか。

A

ラスパイレス指数（令和4年4月1日現在）を参考にすると、神崎市は97.3である。県内10市の平均は98.0となっており、神崎市は若干低い位置にあると認識している。

ラスパイレス指数とは

地方公務員と国家公務員の給料水準を、国家公務員の職員構成を基準として、学歴別、経験年数別に平均給料月額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給料水準を指数で示したものの。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、条例案件3件、その他案件3件について審議を行いました。

議案名：神崎市憩の家の指定管理者の指定について（全員賛成）

Q

社会福祉協議会の会長が新しく代わられているが、会長の今後のビジョンを伺う。

A

コロナ禍を明けた高齢者への福祉事業として、会長は「高齢者の憩いの場として、憩いの家に多くの方がお集まりいただけるような施策を行っていききたい」とお話されている。

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、その他案件1件について審議を行いました。

議案名：高取山公園及び脊振山村広場の指定管理者の指定について（全員賛成）

Q

議案の内容は、神崎市観光協会を指定管理者と指定するものである。前回は指定管理者は神崎市観光協会となっているが、今までに問題等はなかったのか。

A

公園の設置目的は、農林産物の加工展示販売、市の歴史や文化・観光の情報発信であり、そこに神崎市観光協会が入り多くを担っている状況で、特に問題はない。

議会改革検討特別委員会の活動報告

委員長 野副 芳昭

委員会では、第1分科会及び第2分科会の調査、研究について全員で確認を行いました。

第1分科会では、議会でのタブレット端末などの導入に向け、継続した調査研究を行い、端末導入にかかる協議過程及び導入目的と必要性について再度確認し、議会での端末の管理運用規定の内容及び通信費の取扱い等について、引き続き協議を進めていくことになりました。

第2分科会では、新たな調査、研究項目として「総括質疑のあり方について」を掲げ、県内他市議会の議案質疑の状況等を調査研究していくことになりました。

特別委員会では、各分科会からの報告を受けたのち、更に改革していく項目についての協議を行い、主に「本会議における採決システムの活用」、「会派代表



▲委員会室における特別委員会の様子

議会運営委員会行政視察研修報告

委員長 福田 清道

11月9日から10日にかけて、山口県防府市議会と萩市議会にて行政視察を行いました。

防府市議会では「議会運営と議会改革」の研修を行いました。議会改革について防府市議会では、議会改革推進協議会が設置され、監視機能の強化、政策立案の強化、市民に開かれた議会の強化、市民と共同する議会をテーマに協議がなされ、平成22年12月、山口県では3番目に議会基本条例が制定され、翌23年4月より施行されています。この基本条例に基づき市の政策や課題を議論するため、全員協議会方式の「政策検討会」を実施。また広く市民の意見を聞くため、「議会モニター制度の導入」がなされており神埼市議会にとっても大変参考になり、当議会においても何度も議論し、見送っていた議会基本条例に

ついて改めて制定に向け検討する必要があると感じました。

萩市議会では「議会運営と議会基本条例」について研修。萩市議会では平成30年より議論し、その後制定され、「市民に開かれた議会」を目指し「議会及び議員活動の活性化」を図ることができたとのことでした。

今回の研修結果を活かし、なお一層市民に開かれた議会を目指してまいります。



▲防府市での視察研修の様子

意見交換会に出た意見について

～執行部から対応方針をいただきました～

神崎市議会では令和5年7月28日から30日にかけて、市内小学校校区毎に「神崎市議会意見交換会」を開催しました。意見交換会に出たご意見ご要望等については、執行部と情報を共有し、対応等について、議会だよりにて随時掲載します。



仁比山会場

意見

城原川ダムの説明について、水没予定地区には行われているようだが、他の地区（仁比山地区）には説明が少なく、ダム直下の振興策も考えてほしい。

会場における議会の回答

水没予定地域の方には説明が行われているようだが、上流地区、下流地区への説明が十分になされていない状況で、議会としても要望していきたい。

ダム対策課

ダム事業に直接影響がある地区として、水没予定地区並びにダム下流の仁比山地区などに対してこれまで説明会を開催してきており、今年度も仁比山地区には令和5年6月18日に開催しております。また、ダム計画が具体化されてきたことを受け、市民の皆様方にも広く情報を提供することを目的に、城原川ダム予定地上流にあたる脊振町民を対象にした説明会を8月24日に開催し、城原川ダム予定地下流の市民に対しては、神埼町民を対象とした説明会を10月26日に、千代田町民を対象とした説明会を10月31日にそれぞれ開催したところです。

他にも説明会以外の方法として、城原川ダム事業や事業効果などについて市報へ掲載し周知を図っているところです。

今後も様々な機会を通して城原川ダムに関する情報を、市民の皆様に分かりやすく提供していきたいと考えています。



▲中央公民館にて行われた説明会の様子

企画課

城原川ダム周辺地域の地域振興策については、「神崎市水源地域振興計画」に基づき、令和5年度から設置する「神崎市水源地域活性化推進会議」での議論を踏まえ、住民等と行政で協働して具体的な取り組みを進めていきます。

意見

もみじの湯は、公共施設ではなく、また、がけ崩れもあり危ないため避難場所に指定できないとのことだが、指定できないのか。

▶▶ 会場における議会の回答 ◀◀

もみじの湯を緊急避難所として指定できるか、執行部に問い合わせを行いたい。

防災危機管理課

市の指定避難所は、収容人数、部屋数、トイレ設備、空調設備、電源設備、備蓄スペース等の避難所機能を有している施設として公共施設から選定しているところ。

7月豪雨の際は市が開設している避難所や安全な場所へ避難することができず、近くの施設に避難せざるを得ない状況であったため、人命を守ることを第一とし、臨時的な避難所として開放したところ。今後も同様な状況となった場合は、選択肢の一つとして、臨機応変に対応していきたいと考えています。



▲もみじの湯



千代田西部会場

意見

上犬童から入った市道は、40km/hの規制があるが生活道路でありながら追い越し禁止となっていない。以前は大型進入禁止となっていたが、何か規制はできないか。

▶▶ 会場における議会の回答 ◀◀

大型車の通行禁止や、追い越し禁止について執行部を通じて公安委員会に問い合わせをする。

防災危機管理課

市道上犬童蓮池線は、国道34号と国道264号を結ぶ一級市道で、2車線片側歩道で整備された幹線市道と位置付けてます。

この路線の追い越し禁止になっていない事について、警察に問い合わせたところ、経緯の記録がないため不明ではあるが、他の路線では追い越し禁止規制をかけると農耕車も追い越すことができなくなるため、速度規制のみかけているところもある、とのことでした。

市では、これらの規制について、地区の要望に基づき警察へ要望しているところ。地区において要望を取りまとめていただき防災危機管理課へご相談ください。



千代田中部会場

意見

千代田交流センターが避難場所となっているが、豪雨災害の際、城原川が危険な時に西地区の市民が避難できない。市からの避難指示が発令されても、地域公民館が安全な場合は、柔軟に現実的な避難場所への避難が認められないのか。

会場における議会の回答

昨今の被災状況から、避難場所の再考は必要。また、排水ポンプ車の格納場所についても再考が必要。地区公民館の立地状況等の調査も必要であるとする。

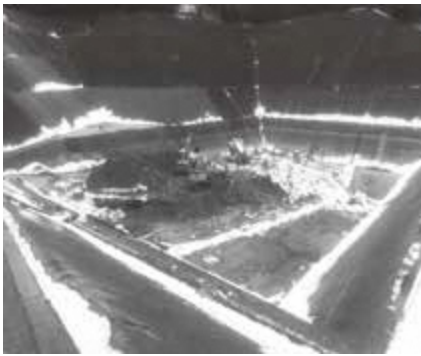
防災危機管理課

千代田中部地区の指定避難所は千代田交流センターとなっております。市の指定避難所は、収容人数、部屋数、トイレ設備、空調設備、電源設備、備蓄スペース等の避難所機能を有している施設を選定しており、警戒レベル3の高齢者避難の発令と同時に早期避難所として開設し、市民の皆様には早めの避難を呼びかけているところです。

指定避難所に避難するよりも地区の公民館の方が安全であれば地区の公民館に避難することは非常に有効であると考えます。地区によっては自主防災組織を立ち上げ、災害時には共助ということで自主的に地区公民館を避難所として開設しているところもありますので、柔軟な対応をとって頂きたいと思っております。

議会の動き（令和5年10月～12月）

10月10日	議会広報編集特別委員会	21日	産業建設常任委員会
12日	北海道余市町議会より行政視察受け入れ 第238回佐賀県市議会議長会（多久市）	24日	総務常任委員会
18日	議会広報編集特別委員会	28日	議会運営委員会
19日	文教厚生常任委員会（上峰町視察）	12月1日～20日	令和5年12月第5回神埼市議会定例会
20日	議会改革検討特別委員会第1分科会	1日	全員協議会
24日	産業建設常任委員会	6日	議会広報編集特別委員会
25日	議会広報編集特別委員会	11日	議会改革検討特別委員会第1分科会
30日	議会広報編集特別委員会	13日	令和5年度予算特別委員会 議会改革検討特別委員会第2分科会
31日	防衛省全国施設協議会中央要望活動（東京都）	14日	文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会
11月6日	全国市議会議長会基地協議会第107回理事会	15日	総務常任委員会
8日	文教厚生常任委員会	18日	議会改革検討特別委員会 議会運営委員会
9～10日	議会運営委員会行政視察研修（山口県内）	19日	全員協議会
15日	全国市議会議長会基地協議会九州・沖縄 部会総会（鹿児島県）	20日	全員協議会
20日	文教厚生常任委員会		



脊振クリーンセンター
最終処分場



契約野菜圃場
(神埼町)

議員 脊振クリーンセンター稼働終了に伴い、最終処分場の整理はどうするのか。

森田市民福祉部長 本年10月末現在で1,000t、1,500tの灰が残っており、組合に確認したところ、令和6年3月末までに溶融処理を終



徳川 博人 議員

脊振クリーンセンターの安全は、日頃の点検から



了すると聞いている。

議員 閉鎖後の水質調査等のモニタリングは実施するのか。

濱野生活環境推進課長

閉鎖後の水処理・モニタリング・水質検査の方法などについては、今後国・県から示される予定。

畑地化促進事業について

議員 畑作化促進事業の申請が、市では75戸で採択は2戸と少なくなっており、市としてどう考えているのか。

議員 予算の適切な執行時期について、どう考えているのか。

松本財政課長 事業の遅延が、市民の皆様にも、不利益を及ぼすことが無いように全庁的に周知徹底を図り取り組んでいく。

令和6年度予算(案)について

議員 予算の適切な執行時期について、どう考えているのか。

松本財政課長 事業の遅延が、市民の皆様にも、不利益を及ぼすことが無いように全庁的に周知徹底を図り取り組んでいく。

議員 災害発生時において、一人暮らしの高齢者や要介護者、障がい者等、一人では避難することが困難な(避難行動要支援)者を、安心して安全に避難させるための個別避難計画が、本市において作成されているのか。



末原 憲治 議員

個別避難計画は作成されているのか



配慮が必要な情報、また、常備薬等避難時に必要不可欠な情報を記載し、現在対象者が1,793名で、情報提供された512名分の個別避難計画を作成している。

議員 7月の豪雨災害以降に避難所の在り方について再検討されたのか。

中島総務企画部長 避難所については公共施設の中から、避難者が一時的に滞在できる設備等の機能をおおむね有した施設を指定している。しかし

7月の豪雨では中央公民館周辺道路において4、50センチほど冠水し、一時的に通行できなくなり中央公民館以外への避難を情報発信した。今回の教訓を踏まえ防災出前講座等で早めに避難行動をとっていただくよう呼び掛けていきたい。

その他の質問

・BCP(業務継続計画)策定について
・自転者用ヘルメットの助成について



神崎市中央公民館に昭和28年水害時の水位が筑後川河川事務所から提示されている。



台所カーテンとガステーブルが接近し、火災の危険

議員 令和5年11月26日、一棟目の二階の北側寝室の窓の結露がひどい。しかし、同日の二棟目の二階の北側寝室の窓の結露はなかった。結露

は、衛生上にも問題だ。また、入居者の方々は、台所の窓に大半がレースのカーテンを使用されている。しかし、今回の設計では、カーテンと台所のガステーブルの距離が余りにも近く、火災が心配である。これらは設計上の問題ではないのか。

野中建設課長 日照や外気の状態によっては結露については発生する場合もある。また、カーテン使用についても、今後、入居者の方々からの相談を受けながら、対応を協議していきたいと考えている。

松永農林水産担当理事 現状は私も承知している。まず調査を行い、補助的なものがあるというふうな在り方がいいのか、今後の課題として研究をさせていただきたいと思う。

議員 内水氾濫を防ぐ対策として、クリーク内の事前排水は有効であるが、クリーク内の法落ち被害も発生している。市の対応は。

農林水産担当理事 今後、必要な予算を計上して補修等を行っていく。

野中商工観光課長 ブラント力アップ、販売促進には市場マーケティングが必要である。しかし市だけではできないので、地元企業、大学、金融機

関等、専門家集団と協力し、産学官一体となり今後研究、検討を図ってきたい。



野回 英樹 議員

新小津ヶ里団地の安心・安全



農業対策について



福岡 清道 議員

地場商工業者へ支援の拡充を



議員 市商工会への運営費補助は合併以来1,800万円前後で推移している。地場産業の支援・育成からもこれを増額する必要がある。特に地域ブランドとして認定されている「神埼そうめん」は資本力も小さい地元企業である。宣伝や企画力にも資金的限界がある。400年近くの歴史のある神埼の製麺業を市行政はしっかりと支援すべきである。

市長 製麺業者の若手の後継者の方たちは新商品開発など、非常に頑張っておられ、販路拡大に努力されている。

そういうところに行行政がバックアップをしていけばと考える。「神埼そうめん」は神崎市唯一のブランドである。この製麺業支援については私も本気になって考えているところであり、いましばらく時間をいただきたい。



地域ブランド「神埼そうめん」なお一層の飛躍を目指して

八谷福祉事務所長 神崎

議員 福祉でまちづくりについて、『心豊かに元氣あふれるまち』市民みんな一緒にやろう、共に支えあい、いきいき暮らせるお年寄りにやさしいまち（地域）づくりは、重要ポイントをおさえ、それを出来ることから実行していくことが大切である。お年寄り皆さんの安心条件の一つは、交流の場があることである。お年寄りの皆さんが集い、会話が弾み、笑い声が絶えないようなお年寄りが集まりやすい社会福祉施設（溜まり場）の充実が必要であるが施設の整備状況は。



白石 昌利 議員

お年寄りにやさしいまちづくり



市が保有している高齢者が主に利用する福祉施設は、神崎市総合計画の子育てから介護まで、誰もが安心して暮らせる環境を充実させるという基本方針に基づき、市民の福祉の増進を目的として、運営している施設である。

脊振町高齢者生活福祉センターそよかぜ荘、神崎市憩の家、仁比山温泉もみじの湯、千代田町福祉センターの各施設は、ともに指定管理者による管理を行っている施設として、運営している施設である。

理を行っており、それぞれに施設の特徴を生かした運営を行っている。また各施設の整備は、利用者の安全や利便性を考慮し、随時整備を行ってきた。

各施設は市民にとって長年親しまれている施設であることを認識し、今後も高齢者の方々をはじめ、多くの方々にとってよりよい交流の場となっていくように施設の整備を図る。



市民交流の場であり、市民福祉の拠点
千代田町福祉センターの整備を望む

議員 神崎市の今後の流域治水対策及び方針について。

花島ダム対策担当理事

令和4年度作成神崎市流域治水対策の検討結果に基づき対策について、筑後川右岸下流域（三神地区）流域治水対策検討会の関係市町等と連携し着



副島 英樹 議員

神崎市の流域治水と城原川の野越し



実に取り組んで行く。

議員 城原川には400年以上前から霞堤が4か所・野越し（越流堤）が5か所ある。その中で受け堤が撤去された野越しが4か所あり。受け堤を撤去したことにより周辺家屋への浸水被害が懸念されるが将来を見据えて、流域治水として霞堤・野越しに受け堤・遊水地・調整池等の構築を検討してはどうか。

ダム対策担当理事 今回の水害では、城原川野越しからの越水により下流域堤防の越水の回避、堤防



城原川の霞堤と野越し

議員 野良猫対策として、飼い猫・地域猫・飼い主のいない猫（野良猫）に対し避妊去勢手術費用の一部補助を検討してもらいたい。また保護活動時のみ使用での捕獲機の貸出をお願いしたい。

森田市民福祉部長 野良猫の繁殖防止対策で、避妊去勢手術は有効な手段であり、県内20市中13市町が、避妊去勢手術費用の一部補助を行っており、当市でも検討する。また捕獲機に関しても、保護活動時のみ活動団体に貸出しできるように検討する。

その他の質問
・ふるさと納税について

一般質問

神崎市議会だより 第67号（令和5年12月定例会）

議員 駐車場として利用されている下神代団地跡

下神代団地跡地の整備について

森田市民福祉部長 子どもものインフルエンザ予防接種については、国で有効性や安全性、費用対効果などを議論、検討される。任意接種ではあるが、接種費用の助成が早期に実施できるよう検討していく。带状疱疹についても同様に国で議論がなされ、定期接種化を検討されている。

議員 インフルエンザワクチン接種と带状疱疹ワクチン接種費用の助成の検討を。



原口 ひさよ 議員

予防接種で感染予防対策を

地の整備の検討は。

嶋産業建設部長 団地敷地の全体的な活用が決まっていない中で、舗装などの形状変更は難しい。

議員 東部小学校の北校舎の北側が現在空き地化となっている。駐車場として活用できるような整備の検討を。



駐車場整備が望まれる（東部小学校北側）

その他の質問
・飼いのいない猫対策について

平山教育部長 下神代団地跡地の全体的な用途の方向性や計画の進捗の時期と併せながら、範囲や有効性、安全性など、どのような整備活用ができるか検討していきたい。



屋根がない駅南口駐輪場

議員 神崎駅南側の駐輪場整備について、駅北口には屋根付きの駐輪場があるが南口の駐輪場は屋根が付いていない。屋根



増田 紀之 議員

神崎駅南側駐輪場整備について

をつけることはできないか。市民はもちろん、神崎高校・神崎清明高校の生徒も駅から自転車を利用し通学している、雨降りには屋根が無いと合羽も着用できない、冬場はサドルやハンドルに霜が降り大変である。

議員 市が管理している防犯灯や街路灯に長期にわたり点灯不良個所があるが、どのような維持管理をしているのか。

産業建設部長 担当職員の間巡視により実施している。

議員 地区が負担している防犯灯や街路灯の電気料金を市で支援するなどの考えはないか。

中島総務企画部長 地区の負担感に配慮し消費電力の少ないLEDに随時交換する。令和10年頃にはすべての街路灯や防犯灯をLEDに交換する。

防犯灯及び街路灯について





中野 均 議員

旧神崎高校跡地の利活用計画は、どうするのか



方メートルを企業用地として売却予定。協議決定した整備計画に基づき神崎地区土地開発公社で造成工事を完了し、売買契約を締結する予定。再販価格は用地取得費、造成工事費及び金融機関借入利子等により算出する。

議員 旧神崎高校跡地の取得価格と利活用計画の課題については、どう捉えているのか。

議員 工場用地造成工事に当っては、「覚書、確認書」を役所として文書を交わすべきではないか。

副市長 文書に残したものがいいので、確約書か、

議員 覚書を要求していく。分譲住宅計画されているが元値が高いので、分譲価格が厳しいと思うが。

市長 いろんな課題・疑問点を提示頂いたので、早く完了させて、分譲・再販価格を抑えて厳しい条件の中でやっていく。

その他の質問 第2次神崎市国土利用計画の土地利用構想について

議員 跡地利活用計画では企業用地として、隣接するヤクルト本社工場に売却する予定であるが、その面積、今後のスケジュールは。

産業建設部長 近接する跡地北側約8,000平方



旧神崎高校跡地の利活用計画図



末次 勝 議員

買物弱者対策の実施内容について



の一部で移動販売サービス提供がない地域の現状把握を行いながら、み

議員 市内における移動販売車による巡回販売実績を市は把握しているのか。

議員 市内における移動販売車による巡回販売実績を市は把握しているのか。

議員 公共下水道事業計画の、現状の進捗状況と課題及び、令和7年度以降の計画について。

議員 公共下水道事業計画の、現状の進捗状況と課題及び、令和7年度以降の計画について。

議員 市内の小売業や新規事業など移動販売を検討している業者に対して、市独自の補助事業など検討できないか。

議員 市内の小売業や新規事業など移動販売を検討している業者に対して、市独自の補助事業など検討できないか。

野中商工観光課長 市内



市内で実施している民間業者の移動販売の状況

一般質問

神埼市議会だより 第67号（令和5年12月定例会）

松永農林水産担当理事
現在進行中の計画は、令和5年12月末の完了を目標に進めている。次期計画については県との協議

議員 5か年計画である森林経営計画が今月で終わると聞いている。今後の計画はどのように考えているか。

西村林業課長 今年7月以降、被害調査や災害査定業務を優先して市有林間伐の入札時期を変更している。

議員 昨年の林道災害に続いて今年も7月に大雨に伴う災害が多数発生しているが、市有林の整備は計画どおりに進んでいるのか。



大野 秋人 議員



脊振町内の大雨被害
令和5年7月14日

農林水産担当理事 現在までに262人の森林所有者へ意向調査を実施しているが、そのうち107人の回答が得られていない。他にも集積計画や現地調査など重要な課題があることから他市町と連携した協議会等の立ち

議員 森林経営管理制度の意向調査に関する進捗や回答状況は。

を行いながら市有林と私有林の集約化を考慮した計画の策定に取り組んでいる。

市有林の計画的整備について



農林水産担当理事 これまでも収益のある間伐木材は搬出して財源として確保していたが、それ以外の木材もこのような事業に使うことができれば今後神埼市の将来を見据えた林業事業に寄与する

議員 未利用間伐材を活用した先進的な木質バイオマス発電の取り組みについて、調査研究する考えはあるか。

上げを検討したい。

福祉事務所長 対象とな

議員 介護認定で障害者控除を受けることができるが、市内対象者への申請書の送付はなされているか、また控除の現状はどうなっているか。

大坪高齢障がい課長 待機年数については、日数で介護4の方で、965日、介護5の方で793日となっている。

八谷福祉事務所長 市内の待機者は54人（介護度4〜12人・介護度5〜7人）である。

議員 介護保険制度が施行されて20年になるが、介護度4・5の方の特養待機者数の市内の現状と待機年数は。



佐藤 知美 議員



100歳まで元気で！

議員 同じ制度の下で不利益・利益という差があつてはならない。鳥栖

高齢障がい課長 個別通知を行っているのは鳥栖広域1市3町と、唐津市、玄海町となっている。

議員 唐津市では個別の通知を行っているが、県

の方の抽出が難しいことから、個別の通知はしていない。控除の現状は、令和3年が6人令和4年は6人が認定されている。

介護認定で所得・市民税の障がい者控除を



市長 鳥栖広域の1市3町が通知をしていることは、私も承知していません。住民の皆さんの利益・不利益というものを判断しながら提案をしてみたいと思う。

広域できて、佐賀中部広域連合でできないのか、市長は佐賀中部広域連合の副連合長であり、連合において個人通知を行うべきと主張すべきと思うが市長の所信は。

神崎市議会議員の報酬に係る 特別職報酬等審議会の答申について

市長からの議員報酬の適切な額について意見を伺う旨の諮問に対し、神崎市特別職報酬等審議会において計3回にわたり審議を重ねた結果、「成果の見える議員活動へ強化を図ることが重要」「若い人が立候補できる環境を作り優秀な人材を確保すべき」などの意見を踏まえ、令和5年12月14日、市議会議員の報酬額について、審議会から市長に対して答申がなされております。

今後、市では今回の答申を踏まえて条例改正について検討されるとのことです。

報酬審議会の答申内容

神崎市の財政状況、県内団体との比較、社会情勢等を勘案した結果、議長：40万円から44万円（10%増）、副議長：33万2千円から37万2千円（12.1%増）、議員：31万円から35万円（12.9%増）に引き上げることが適当である。

報酬審議会の答申に係る附帯意見

報酬審議会では、「今回の議員報酬の額の改定は、現活動内容と県内他市との比較等の中で決定したものであるが、現在の議員活動に納得している市民ばかりではない。市民の要望を踏まえた議員の資質向上、適正な議員定数の検討、成果の見える活動の強化など、今後の議会改革の期待値を含めたものでもあるため、引き続き、職責に邁進されたい」、との答申書に係る附帯意見が付されております。

編集後記

令和6年の幕開けは、能登半島における震度7の報道から始まり、14日現在で221名という尊い人命が失われました。

犠牲になられた方々への哀悼の意を表します。

また2日には日航機と海保機の事故が発生し、海保職員の方5名の命が奪われましたが、今回の事故で特筆されるのは、機長と連絡が取れないなかで、客室常務員の冷静沈着な判断と行動によって乗客・乗務員379名全員の命が救われた事です。さらには事故に遭遇した全日空の職員も救助に当たるなど、海外では「奇跡」と称賛されていますが、航空関連のみならず様々な業種において事故・災害を想定した日常的な訓練の結果だったのではないかと思います。私たちも災害に備えて、避難時の携帯品や防災グッズの確認を意識的にすることが必用だと強く感じました。

（記 佐藤 知美）

議会広報編集特別委員会

委員長	佐藤 知美	委員	副島 英樹
副委員長	平山 文也	委員	徳川 博人
委員	白石 昌利	委員	末次 勝